

かけはし

第64号 平成16年6月3日発行
千代田区教育委員会
<http://kyoiku.city.chiyoda.tokyo.jp/>



左上 “新学期的様子”運動能力測定会（練成中）／右下 1年生をむかえる会（富士見小）

主な記事

- 平成16年度千代田区教育委員会予算①
- 平成16年度千代田区教育委員会予算②
- 教育委員紹介・教育委員会組織図
- 二期制を導入します

新しい仲間

新たな出発から、早2ヵ月が過ぎました。
さわやかな春の季節の中で、いろいろな体験をしながら学びました。

ISO14001認証取得



千代田区役所

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

平成16年度

教育予算

総額 四四億二、二〇〇万円

「中等教育将来像」の具体化を図るため、中等教育学校の創設と在来型中学校の再配置に取り組みと共に、基礎的・基本的な知識や技能の定着、さらなる学力向上を目指し、個に応じたきめ細かな教育を実施します。

図書館では、大学図書館との連携、歴史資料の積極的な活用を図ります。

1. 中等教育学校の創設と在来型中学校の再配置を進めます。

中等教育学校開設準備(拡充)

一、九〇七万円

中等教育学校施設整備(継続)

二八、六五九万円

(仮称)区立中等教育学校の平成18年4月開校に向け、「(仮称)中等教育学校カリキュラム検討委員会」を設置するなど、より具体的な準備を進めていきます。また、設置場所の一部である現在の都立九段高

校の隣接地に、主に1・2学年が使用する予定の新校舎を建設します。

在来型中学校の整備(新規)

八、八五一万円

中等教育改革の一環として、麴町、神田の各地区に1校ずつの在来型中学校を設置する方針に基づき、神田地区3校の交流事業等を実施し、よりよい教育環境を整え、各々の学校の特色化を図り、さらに充実・発展させ、平成17年4月に、神田一橋中学校を設置します。

2. 基礎・基本の定着とさらなる学力向上を目指します。

基礎学力向上プラン(拡充)

一、五六九万円

非常勤講師等の任用(継続)

七、八六一万円

少人数指導や小学校における教科担任制の導入など、基礎学力の定着を図りま

す。また、区独自に児童・生徒の学力達成度を調査し、その結果と分析を発表して指導の改善に活かします。

わくわく授業アシスタント(新規)

二九三万円

各学校に学生を派遣して、学級担任や教科担任の指導に学生が加わり、児童生徒への学習支援や放課後の学習相談・体験学習の支援など、きめ細かな指導を行います。

コンピュータ教育(継続)

九、六七四万円

全国に先駆けて、すべての小・中学校に無線LANと高速大容量の回線を整備しブロードバンド・スクール化を行いました。各教室でノートパソコンを使い、児童・生徒が必要な情報を収集したり、プレゼンテーション画面を作成したりと、様々な学習に活用していきます。

3. 特色ある、開かれた学校づくりを進めます。

学校(園)のISO

14001認証取得(新規)

二五七万円

学校週5日制への対応(拡充)

一、四五二万円

幼児や児童・生徒が週2日の休日を有意義に過ごすことができるように、様々な活動の場や機会の提供を行っています。平成16年度は、特に、中学校の学力向上対策を拡充します。

自分で考え、自分に合った取り組みを選び、豊かな時間を過ごすことができるように支援をしていきます。

5. 学校の安全・安心をさらに強固にします。

安全・安心まちづくり施設改修(新規)

二、〇〇〇万円

防犯ベルの支給(新規)

一八六万円

区立施設全般の安全再点検を受け、犯罪防止に対応した、子どもたちにとって安全な学校(園)づくりを進めます。また、全区立学校の児童・生徒に防犯ベルを支給します。

6. 教育環境の改善を進めます。

施設改修等(継続)

一六、六九六万円

平成15年度に本庁舎がISO14001認証取得をしたのに続き、平成16年8月に学校(園)での認証取得を目指しています。学校での環境活動への取り組みが、子どもたちだけでなく、保護者、地域を含めた環境活動の発展に良い影響を与えることができます。

スクールサポート・プロジェクト(拡充)

三〇〇万円

NPOや企業など実社会と連携した体験的な学習を通し、児童・生徒に必要なチャレンジ精神や自律的に行動する力を育成するため、体験型学習プログラムを実施します。

平成16年度は、新たに『起業家教育プログラム』(トレーニングゲーム)を取り組みに加え、課題解決能力や交渉力などを育成します。

学校活性化支援事業(継続)

一、七七八万円

平成15年度から、特色ある学校づくりを進めるため、学校(園)が独自に取り組む教育活動に対して重点的に予算を配分することを開始しました。

平成16年度も継続して提案事業の審査・採択を行うとともに、音楽コンクールなど、

成果発表の場への積極的な参加を行います。

開かれた学校づくりの推進(継続)

三九八万円

区立の小・中学校では、地域とのパートナーシップを築き、区民に信頼される学校づくりを推進するため、積極的に情報発信を行い、平成15年度から学校の外部評価を実施しています。

平成16年度は、平成15年度の結果を学校運営に活かすとともに、評価の仕組みも、より客観的評価が行われるよう工夫します。

学校選択制の実施(継続)

二〇万円

各中学校で特色ある学校づくりを行い、自分にあった中学校で能力を伸ばせるよう、平成14年度から実施しています。

4. 道徳教育の充実や非行防止・健全育成に取り組みます。

心の教育・健全育成(新規)

二六四万円

健全育成サポートチーム(新規)

一八万円

心の教育コーディネーターを、定期的に各

7. インターネットの活用で図書館や資料館のサービスを拡大します。

図書館ネットワーク運営(継続)

二、六七三万円

家庭や学校、職場等からインターネットを通じて、図書館資料の検索や予約ができます。また、提携を進めている、大学図書館、専門図書館の横断検索もできるようになりました。

図書館の郷土資料整理(新規)

一五二万円

歴史資料のデジタル化(継続)

二九八万円

歴史資料のデータベース化(新規)

二七三万円

図書館の「江戸名所図会」などの貴重な資料を点検・整理し、各資料の関連性や主な内容を目録化します。歴史民俗資料館の収蔵資料等をデジタル化します。これらの資料をホームページで公開していきます。



教育委員紹介

三月三十一日付で教育委員会は左記の構成になりました。千代田区における多くの教育課題に一生懸命取り組んで参ります。



教育委員（教育長）

若林 尚夫



教育委員

大杉 宏光



教育委員

福澤 武



教育委員長職務代理

影山 純子



教育委員長

堀口 雅子

二期制を導入します

各学校が創意を生かした特色ある学校づくりを進めるため、校長の裁量権を拡大し、学校が主体的に柔軟な教育課程を編成することを目的として、16年度は、幼稚園2園、小学校3校、中学校1校で「二期制」を行います。

▽導入学校（園）

- ・幼稚園：九段幼、番町幼
- ・小学校：九段小、番町小、富士見小
- ・中学校：九段中

▽導入の利点

- ・年間を見通した長いスパンの学習計画が可能となる。
- ・学校行事を柔軟に設定でき、ゆとりを持って取り組むことができる。
- ・生徒一人ひとりの変容を具体的にとらえた通知表が作成できる。
- ・選択履修科目の選択時期を増やし、多様な科目の選択が可能となる。
- ・教科書の上、下巻が無理なく計画的に進められる。
- ・授業時間の増加などが挙げられます。

▽年間カリキュラムの概要

二期制（例示）

前期（4月1日～10月上旬）			期間休業日	後期（10月上旬～3月31日）			
始業式 4月	夏季休業日 7/21～8/31	終業式 9月又は10月 通知表		始業式 10月	冬季休業日 12/26～1/7	修了式 3月 通知表	春季休業日 3/26～4/5
授業73日		授業27日		授業50日		授業54日	

※校長が年間計画を決定できる。

（授業日数は平成15年度のものです）

新しい教科書を表示

小・中学校で平成17年度に使われる教科書の展示会を行います。

とき 6月4日（金）～7月7日（水）

午前9時から午後5時まで
（土・日曜日は休館です）

場所 千代田区立教育研究所7階
教科書センター（情報資料室）

学校（園）施設内禁煙の実施

7月1日（木）から喫煙による健康被害を予防し、健康の保持・増進を図るため、区立小学校、中学校及び幼稚園の校（園）舎・校（園）庭等敷地内においては、全面禁煙といたします。

ご協力をお願いいたします。

平成16年度 区立学校（園）の運動会の日程

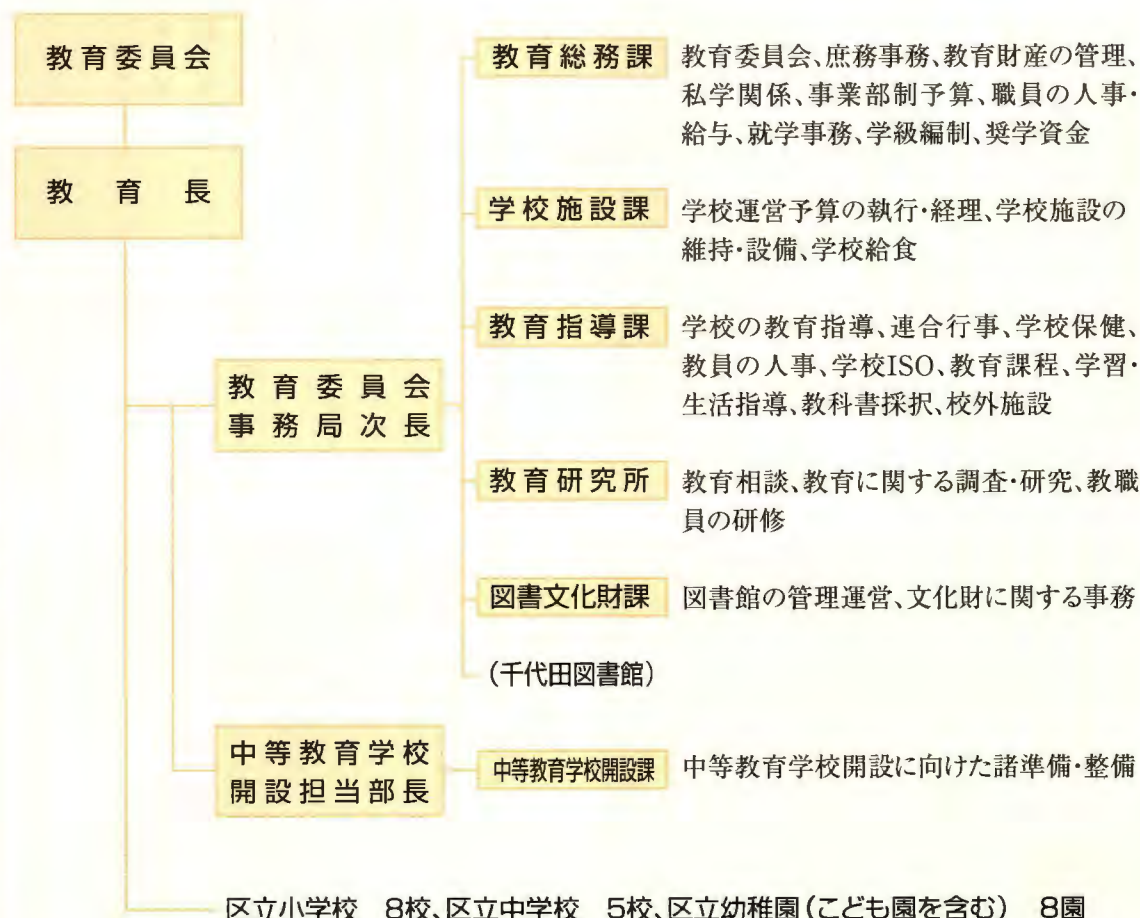
実施日時		校 名	雨天の場合
6月5日（土）	8時30分	九段中学校	6月 6日（日） 8時30分
	10時00分	今川中学校	6月 6日（日） 10時00分
	10時00分	練成中学校	6月 8日（火） 10時00分
9月25日（土）	8時30分	麴町中学校	9月26日（日） 8時30分
	8時30分	富士見幼・小	9月26日（日） 8時30分
	9時00分	一橋中学校	9月26日（日） 9時00分
	9時00分	千代田幼・小	9月26日（日） 9時00分
9月26日（日）	8時30分	九段幼・小	10月 2日（土） 8時30分
	8時30分	番町幼・小	10月 2日（土） 8時30分
	8時30分	和泉幼・小	10月 3日（日） 8時30分
	8時50分	麴町幼・小	10月 2日（土） 8時50分
	9時00分	お茶の水幼・小	10月 3日（日） 9時00分
	9時00分	昌平幼・小	雨天実施

※小学校・幼稚園は合同開催です。園児の出演は午前中になります。場所は、各学校の校庭です。（ただし、練成中は外濠公園グランド）

教育委員会の組織が新しくなりました

平成16年4月1日現在

平成18年4月に中等教育学校を開校するための推進組織として「中等教育学校開設課」を、また、教育環境を改善し、在来型中学校の整備を進めるための組織として「学校施設課」を設置しました。
なお、幼児、児童、生徒の就園・就学事務を担当する学務係が「教育総務課」に移りました。



区立小学校 8校、区立中学校 5校、区立幼稚園（こども園を含む） 8園

一人一人のニーズに応じた教育の展開をめざして

これからの心身障害教育について
お知らせします。

東京都では、心身障害教育の今後の方向について、東京都心身障害教育改善検討委員会を設置し検討を重ね、平成十五年十二月二十五日に「これからの東京都の特別支援教育の在り方について」(最終報告)を公表し、今後の心身障害教育の方向性を明らかにしました。



特別支援教育とは

これまでの心身障害教育の対象の障害に加え、LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症の障害のある児童・生徒等も対象とします。

その一人一人の教育的ニーズを把握して、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う教育のことをいいます。

なぜ改善が必要なのでしょう

まず、社会のノーマライゼーション(障害のある人も、障害のない人も、同じように社会の一員として社会参加し、自立して生活できる社会を目指す、という考え方)の進展により、すべての人が共に生きる社会の実現が求められるようになりました。そして、児童・生徒の障害の重度・重複化や多様化に応じた教育内容・方法の充実や、都立盲・ろう学校在籍者の減少と知的障害養護学校在籍者の増加等に対応する教育環境の整備が緊急の課題となっています。

さらに、小・中学校の通常の学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症児への教育的な対応も、課題となっています。



改善の理念

障害のある幼児・児童・生徒の特別な教育ニーズにこたえ、一人一人の能力や可能性を最大限に伸長する多様な教育を展開します。

改善のポイント

【特別支援教育推進のための基本的な考え方】
エリア・ネットワーク構想
全都を複数の地域(エリア)に分割し、エリア内の学校や関係機関との連携などによる「エリア・ネットワーク」を形成します。

エリア内の盲・ろう・養護学校と、小・中学校とが連携・支援体制を構築、さらに、乳幼児期から卒業後までの一貫した支援を行うため、「特別支援プロジェクト」を構築します。

【現在の盲・ろう・養護学校を「特別支援学校」に転換】

これまでの障害種別の枠にとらわれない柔軟な教育支援を行うことのできる特別支援学校に転換し、必要に応じ、障害種別の異なる部門を併置します。さらに、障害の重度・重複化、多様化や、児童・生徒数の増減、通学負担などに対応するため、学校の規模と配置の適正化について検討します。

児童・生徒は、居住する地域の小・中学校に「副籍」を置き、地域との関係を保つことができるようにします。

*「副籍」：都立盲・ろう・養護学校に在籍する児童・生徒が、居住地域の小・中学校に副次的に籍を置くことです。

【身近な小・中学校に「特別支援教室」を設置】

児童・生徒が通常の学級に籍を置きながら、必要な時間、専門的な指導を受けることを基本とします。

*「特別支援教室」：例えば、専門的な施設・設備を備えた教室で、専門的な指導を行う拠点的な特別支援教室・必要に応じて、固定された教室での指導または巡回指導を行う特別支援教室・担当の教員が、週の必要な時間、巡回指導を行う特別支援教室が考えられます。一人一人の教育ニーズに応じて、弾力的に指導時間や形態を選択できるよう、工夫していきます。

設置に当たっては、東京都の心身障害教育の成果と役割を継承しつつ、各区市町村の実情を踏まえて検討していく予定です。

今後の取り組み

国では、法改正も含めて、特別支援教室への移行に向けた準備を進めています。東京都教育委員会では、モデル事業を今年度から実施しています。

千代田区でも、国や都のこうした動向を踏まえて、特別支援教育体制の整備を進めていきます。

ピカピカの笑顔で新学期



こいのぼりをあげよう! 麹町幼



あたらしいお友達がいってうれしいな 千代田幼



一年生を迎える会「アイアイ」を歌います 九段小



六年生に連れられドキドキです 富士見小



東京中華学校との交流風景です 千代田小



瞳を輝かせながら「どんな先生かな」 昌平小



丹精込めて育てた花で歓迎しました 麹町中



部活動説明会でのパフォーマンス 練成中

随想

きょういく

東京都教育委員会の「学校行事の時の国旗掲揚・国歌斉唱の指示、行き過ぎた性教育への批判と処置、これに反対する教職員の処分等」一連の出来事をマスコミが取り上げたせいか、最近、区民から「うちの教育委員は何をしているのですか」と聞かれることが多い。

東京都の市区町村には、約六十の教育委員会があり、千代田区では、区長が議会の同意を得て五人の委員を任命している。区の行政から教育長、それに四人の有識者（辞典を見てほしい）が加わる。この素人四名の参加により、教育の偏りを少なくしようというのが全国的な意図だということから大任である。

これまで、千代田区では、教育畑（元校長）・行政畑・地域代表（元PTA会長）の方が任に当たり、教科書選定その他しつかり業績を重ねて下さった。任期は四年。現在は、行政面に経験豊かな方・企業で責任ある仕事を重ねている方（男性二名）と、教職の経験を持つ旧PTA会長で現在児童館など地域に関わりを持つ方・産婦人科医として体と心に関心を持ち働いている私（女性二名）が委員である。後者二人はそれぞれ神田・麹町地区に育ち、今もその恩恵を受け生活している。自分や子どもたちの母校の統廃合などから生々しい地域の声を聞く立

場にある。一方、千代田は企業の占める割合も多く、昼夜人口の差の著しい特殊な地域、かつ、豊かな文化資産を持つ地域である。四人の持つ特性がそれぞれに活用できれば幸いである。

教育委員会って何をするの？

千代田区教育委員長

堀口雅子



に意見を述べ協議事項に結論を出して行く。児童・生徒の給食や警備、先生方の就労条件、学校統合存続・中高一貫等、問題は多岐にわたる。その他、卒業・入学・運動会・学芸会・研究発表・PTAの集りにも出来るだけ参加し、学校関係の他、町会・議会の方々との出会い

も大切にしている。

子供達の姿を見るとき、段階をおったその成長振りには目をみはる。一方、精一杯練り上げられる行事の陰に少子化の影響が見られる。それぞれの町に欲しい子供の姿。少人数教育の有益な年代もあるが、多人数教育で鍛えられることとの必要な年代。教師達も多数の仲間により切磋琢磨される必要があるのに人数が制限されている。

一方、皆の平等を願うため、かえって失われてしまった個性・適性・それらの重要性を見直し、一人一人の個性を伸ばし、進路の選択肢を広げることが目的とする中高一貫・六年制教育も重要なテーマである。区民の声に耳を傾け、区民に声を届けつつその発展を見守る必要があると思う。

私個人としては、子供たちの成長を親たちが程よい距離で見守ることに手をかしたい。転ばず傷つかぬよう力を注ぐのがいいのか。転び傷ついた時、対応する力を身につけておくのがいいのか。特に思春期問題では、男女の心と体が如何に違うかを知り、相手を思いやる心を育ててほしい。その為には先ず親に学んで貰わねば。

ほりぐち まさこ

随想

きょういく

教育委員会のホームページを開設！

本年3月30日にホームページを開設しました。今まで以上に、積極的な情報提供と情報発信に努めていきます。

・アドレスは…

<http://kyoiku.city.chiyoda.tokyo.jp/>

・区の総合ホームページからは…

トップページ下部にある個別ホームページ欄の「教育委員会ホームページ」から入ることができます。

千代田区教育広報誌「かけはし」では、皆様からの声をお待ちしています。ご意見・ご感想・ご要望等をお寄せください。

次号かけはしは、7月発行予定です。

教育広報「かけはし」第八十四号

平成十六年六月三日発行

編集発行／千代田区教育委員会

〒102-8688 千代田区九段南1-1-6

☎ダイヤルイン 03(5211)4273